


明治20年代から大正時代

明		治		
110年前	100年前		90年前	
22年	27年	35年	37年	38年
<p>・町村制実施により、大滝村・横田村・川口村・本名村・沼沢村が誕生した。</p> <p>あんどん (110年前ぐらい)</p> 	<p>・日清戦争がおこり、二十五人が戦死した。</p>	<p>・冷害で作物ができなかった。</p>	<p>・日露戦争がおこり九十四人が戦死した。</p>	<p>・冷害で作物ができなかった。</p>

明治22年に新しい町村制になり、5つの村が誕生しました。沼田街道（今の国道252号線）が柳津町から只見町までなおされ開通しましたが、岩場が多くたいへんな工事でした。この工事によって人々の行き来や荷物の運搬が楽になりました。



荷物運搬のようす 大正7年

少しずつ世の中がかわってきても、冷害や大洪水にみまわれると作物がとれず、人々の毎日のくらしはまずしいものでした。

〈お年寄りのお話〉

もどもど田がすぐなく米がとれなかった。米だけのまんまなど食べたごとねがった。あわやひえ、かんぷら、だいこん、干し菜っぱを入れた「かで飯」ばっかだった。

